

令和7年第2回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
6月16日(月)	午前	1	高橋 妙子 議員		○	
	午後	2	齋藤 和也 議員		○	
		3	藤井 秀人 議員		○	
		4	近藤 隆行 議員		○	
17日(火)	午前	5	大島 靖浩 議員		○	
		6	土田 昇 議員		○	
	午後	7	稲村 隆行 議員		○	
		8	小林 由明 議員		○	
		9	田澤 信行 議員		○	
		10	岡山 秀義 議員		○	
18日(水)	午前	11	長井由喜雄 議員		○	
		12	渡邊 広宣 議員		○	
	午後	13	小林 秋光 議員		○	
		14	タナカ・キン 議員		○	
		15	佐野 大輔 議員		○	

令和7年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	高橋 妙子 (一問一答方式)	1. 女性の健康について	(1) 更年期障害について	<p>年齢を重ねるごとに卵巣の機能が低下し、女性ホルモン(エストロゲン)の分泌が急激に減少することでホルモンのバランスが崩れ、心身にさまざまな不調があらわれる更年期障害ですが、心理的要因も関係してくることで、症状は個人差が激しく、日常生活に影響が出るほど辛い人もいれば、全く症状が出ない人もいます。女性が自身のヘルスリテラシーを高め、QOLの低下を防ぐことはとても重要であることを踏まえ、質問させていただきます。</p> <p>①更年期障害への市の見解について伺います。 ②市民に対しての更年期障害の周知啓発及び支援体制について伺います。</p>
			(2) 子宮頸がん検診について	<p>子宮頸がんは、毎年約1.1万人の女性が罹患しています。子宮頸がんの主な原因はHPV(ヒトパピローマウイルス)であり、多くの女性が一生に一度は感染すると考えられています。HPVは性交渉により感染するウイルスで、性交渉経験のある女性なら生涯に感染する確率は80%以上とされます。感染しても必ずがんになるわけではないですが、ごく一部で持続感染となり、感染が長期化するなど、様々な理由で、一部子宮頸がんに移行するケースがあります。子宮頸がん検診は、がんを発見するだけでなく、子宮筋腫などの疾患の有無を確認するためにも必要な検診だということを踏まえ、質問させていただきます。</p> <p>①子宮頸がん検診の受診率を伺います。 ②子宮頸がん検診の意義と必要性をどのようにお考えか伺います。</p>
			(3) 市役所における女性職員の健康問題への支援と対応について	<p>①市役所における、女性職員への女性特有の健康問題に対する取り組み、相談体制を伺います。</p>
			(4) 女性活躍推進と女性の健康問題について	<p>①一生を通じて、女性ホルモンの影響を受けることで、女性は常に身体的、精神的な負担と向き合いながら生活をしています。女性活躍を推進し、女性の活躍が期待される一方で、女性特有の健康問題によって多くの女性がキャリアを形成することが困難になったり、活躍を制限されることが現状であり、大きな課題となっています。</p> <p>女性の活躍を推進していくと同時に、女性の健康をマネジメントする取り組みが必要だと考えますが、認識を伺います。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	高橋 妙子 (一問一 答方式)	2. P T Aに ついて	(1)教職員の 働き方改 革とP T A参画に ついて	①教職員のP T A参画においてはどのような活動があるか伺います。 ②子どもたちの健やかな成長と、より良い教育環境の整備を図るためにも、教職員の働き方改革の取り組みが進められている。教職員の働き方とP T A参画において、過度な負担とならないよう、良いバランスが保たれていなければならないと考えるが認識を伺います。
			(2) P T A の 在 り 方 に つ いて	少子化、人口減少が続いていく現状の中で、地域の繋がり希薄化や各家庭の働き方の変化等、今までの当たり前が大きく変わっていきます。 P T Aの在り方も同様に少しずつ変わっていくであろうことを踏まえ、質問させていただきます。 ①P T A活動の目的等をしつかりとお伝えした上で、教職員及び保護者の方々には加入の意思表示をしていただくことが重要だと考えますが、認識を伺います。 ②今後、家庭や地域の在り方が変化していく中で、P T Aの参加意識の低下などの要因により、P T A活動の縮小やP T Aそのものが廃止されることも考えられますが、認識を伺います。
2	齋藤 和也 (一問一 答方式)	1. 公共交通 について	(1)交通空白 地域の把 握と対応 について	燕市ではJ Rや循環バス、予約制デマンド交通など複数の交通手段が整備されていますが、鉄道駅やバス停留所から遠い集落や高齢化が進む地域では「交通空白地帯」が依然として存在しています。また、公共交通が整備されていても実際に“使える”かどうかには大きな地域差があり、特に免許返納後の移動手段の確保が喫緊の課題です。 以上を踏まえ以下の内容を伺います。 ①燕市は交通空白地域をどのように定義し、現在どこを該当地域として把握しているのか伺います。 ②交通空白地への対応として、既存の交通網の見直しや地域との協働による新たな交通手段の導入などを検討しているか伺います。
			(2)デマンド 交通「お でかけき ららん 号」の利 便性と改 善につ いて	おでかけきららん号は高齢者を中心に利用されている予約制のデマンド交通ですが、「電話が繋がらない」、「予約したが、乗れなかった」などの声も寄せられています。きららん号は鉄道駅やバス停留所から遠い集落の方や通学の学生にとって欠かせない存在であることも承知しております。 以上を踏まえ以下の内容を伺います。 ①きららん号の利用実態や利用者満足度に関する市の調査状況について伺います。 ②今後のきららん号の展望について伺います。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
2	齋藤 和也 (一問一 答方式)	1. 公共交通 について	(3) 公共交 通の利 用促 進と地 域と の連 携に ついて	公共交通の継続には、一定の利用者数の確保が前提となりますが、現状では「使いたくても使いづらい」といった理由で利用に至らないケースもあります。 以上を踏まえ以下の内容を伺います。 ①公共交通の利用促進に向けたどのようなPR活動を行っているのかについて伺います。 ②公共交通の継続をするために今後どのような対策が必要なのか、市の見解を伺います。
3	藤井 秀人 (一問一 答方式)	1. 地域活 性化に 向け て	(1) 地域活 性化に 向け て	まもなく来年3月に市制合併20周年を迎えるにあたり、地域の活力が減退していると感じられる。地域の活力が減退していくと、市全体が衰退していつてしまう。そのような懸念を感じる中で質問させていただく。 ①地域の活力が減退していると感じているが、どのような認識を持っているか伺う。 ②今後、地域運営、コミュニティを担う組織は、どのようなかたちが望ましいか伺う。 ③地域活性化の一助として花と緑推進事業を行っているが、申し込み実施状況はどのようになっているのか伺う。
		2. 人生100 年時代 に向け て	(1) 高齢者組 織の地 域活 動の実 態につ いて地 域活 性化に 向け て	現在は人生100年時代と言われている。元気な高齢者が社会を支えていく状況になっていく中、高齢者に対するケアも重要になっていくと考えられるが、そのような観点で大項目2を質問させていただく。 ①老人会、サロン等の高齢者組織の活動の推移について伺う。 ②高齢者組織に対しての補助金の実情と今後の見直しを考えているのか伺う。
4	近藤 隆行 (一問一 答方式)	1. 病気等 で外見 の变化 に苦し む方々 の経済 的・精 神的な 負担軽 減につ いて	(1) 医療用補 正具購 入費助 成事業 につ いて	①市は令和5年度より、がん患者に対して医療用補正具購入費助成事業を開始したが、その利用状況と、市の事業への見解を伺う。 ②医療用ウィッグを初めて購入する場合、利用者に合わせてカットすることがほとんどだが、その調整費用は助成の対象として含まれるのか伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
4	近藤 隆行 (一問一 答方式)	1. 病気等で 外見の変化に苦し む方々の 経済的・ 精神的な 負担軽減 について	(2)脱毛症等 の外見の 変化に苦し む方の 経済的・ 精神的な 負担軽減 について	①市民の方から幼少期より脱毛症による外見の変化に 苦しんでおり、生活が大変だとの切実な相談を受けた。 治療費や、医療用ウィッグなどの費用で、経済的 な負担が長い間続いていることに起因する。脱毛症の 原因は多肢にわたり、様々な要素が絡む場合が多く、 完治が難しいケースもある。また子どもの脱毛症の割 合も多く、治っても再発することもあり、長い間精神 的にも、経済的にも苦しむ病気である。 市は脱毛症等に苦しむ方の状況などの把握があるの か伺う。 ②他の自治体では、がん以外の病気によって外見の変化 に苦しんでいる方も対象に含め、医療用補正具の購入 費の助成を行っている。燕市でもそのような長い間精 神的・経済的に苦しんでいる方の負担軽減が必要と考 えるが、市の見解を伺う。
		2. G I G A 第 2 期に おける 1 人 1 台端 末の更新 について	(1)端末の更 新計画に ついて	①G I G Aスクール構想とは、2019年に文部科学省によ って提唱された、児童生徒に 1 人 1 台の端末を配備 し、個別最適な学びを I C T 端末の活用で実現してい く構想である。 市ではG I G A第 2 期における 1 人 1 台端末の更新 について計画を策定しているが、その計画についての 進捗状況等を伺う。
			(2)旧端末の 適切な処 分につい て	①文部科学省では「公立学校情報機器整備事業に係る各 種計画の策定要領」において、更新端末への補助にあ たり、端末の整備・更新計画の考え方、及び更新対象 端末のリユース、リサイクル、データ消去等、処分計 画の策定・公表を義務づけている。また、旧端末を処 分する上で特に注意しなければいけない点は、旧端末 に残っている個人情報の適切な方法での消去である。 市は旧端末の適切な処分についてどのように考え、ま た計画しているのか伺う。
			(3)旧端末を 利用した 生徒の環 境学習に ついて	①他の自治体では、旧端末を生徒が分解し、その構造や 素材を学びながら、リサイクルや環境問題に対する理 解を深めるという探究学習プログラムを実施してい る。市でも端末更新という機会を捉え、このような授 業をしてはどうかと考えるが、見解を伺う。
			(4)旧端末を 利用した 障がい者 福祉施設 の就労支 援につい て	①市では使用済小型家電のリサイクルを、市内の障がい 者福祉施設に委託し、家電の分解等の就労支援を行っ ている。今回の端末更新の機会を捉え、適切にデータ 消去された旧端末の再資源化と、障がい者福祉施設の 就労支援のため、分解等を委託してはどうかと考える が、市の見解を伺う。

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
5	大島 靖浩 (一問一 答方式)	1. 燕市における地域 福祉計画 について	(1) 第4次燕 市地域福 祉計画・ 第4次燕 市地域福 祉活動計 画につい て	<p>①第4次燕市地域福祉計画・第4次燕市地域福祉活動計画、第4章施策の推進、基本目標1における現状と課題として、地域活動やボランティア活動に意欲のない割合が増加していることについて、現時点の認識や取り組みの方向性について伺う。</p> <p>②福祉教育・啓発活動の推進に係る具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>③地区支え合い活動推進委員会の設置状況について伺う。</p> <p>④ボランティア活動の重要性は認識しつつも、第4次燕市地域福祉計画策定に関するアンケート調査結果(以下「本調査」という。)によれば、「まったく参加したことはなく、今後も参加したいと思わない。」と回答した者が38.1%であり関心の低さを示している。については自分事として捉えるための動機付けについて伺う。</p> <p>⑤地域における子どもの居場所づくりを推進するための方策について伺う。</p> <p>⑥包括的な支援体制の整備として、各種相談窓口・相談支援体制の充実としているものの、本調査によれば、「悩みや不安について、誰／どこに相談しようと思えますか。」の問いに、市の相談窓口と回答した数が20.2%であったことから、さらに市への相談件数を増加させるための方策について伺う。</p> <p>⑦生活困窮者の自立支援事業の内容について伺う。</p> <p>⑧複合的な課題解決に向けた多機関連携の強化に係る、障がい者福祉分野における取り組みについて伺う。</p> <p>⑨燕市再犯防止推進計画の策定状況及び他市の策定状況について伺う。</p> <p>⑩児童虐待の防止に係る市の認識を伺う。</p>
6	土田 昇 (一問一 答方式)	1. 市長の政治姿勢 について	(1) 市長に 就任後 の大事 業の実 現とそ の内容 につい て	<p>①県央基幹病院は近隣市町村と協力しながら実現されたと思うが、病院が完成する前は救急車の要請があつて現場に到着しても受けてくれる病院がなく、結果的に30分～40分待機して、最後は新潟地域や長岡地域まで搬送するような状況で、現場の方々は大変苦勞されてきたことを見てきたので、基幹病院の実現は高く評価したいと思います。現在は受診者が殺到して大変だと報道されていますが、今後問題の一つ一つを解決していくと思います。</p> <p>市長は基幹病院完成まで苦勞が多々あったと思うが、現状認識について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	土田昇 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 市長に就任後の大事業の実現とその内容について	<p>② 柏崎・刈羽原発について 私は一般質問と発言の場で、合併以後16回に渡って発言してまいりました。市民の生命・財産・安全・安心を守り抜く立場で発言してまいりました。その時の議事録を読み返すと、市長の答弁も私の発言に近い答弁をされています。何回質問しても同じ答弁の繰り返しでありました。その点についても高く評価いたします。現在マスコミ等で原発の報道がありますが、現在の認識について伺います。</p> <p>③ 今年2月26日の新潟日報の報道によれば、新しい県立吉田病院が2027年秋開業と報道されました。この県立吉田病院の建て替えについて、合併後20年が経過する中で、私は14回一般質問として取り上げてまいりました。耐震化の工事もしていない中で、地震がきたら大変なことになると、再三再四申し上げてまいりました。この県立吉田病院の件について、市長の答弁は私の認識と同じであると2回答弁しています。合併前から県立吉田病院については、旧吉田町でも大変苦勞してきた問題でありました。今回の新聞報道までこぎつけたことは大変評価できると思いますし、その点の内容について伺います。</p> <p>④ 国道116号吉田バイパスについて、早期実現に努力すべきと数回に渡り申し上げてきました。昨年12月定例会でも一般質問として取り上げました。その時の市の答弁として、一日も早く取り組んでもらえるよう国に働きかけ、用地買収等で市の協力が必要となれば一緒に取り組んでいきたいと考えています、と答弁しています。この国道116号吉田バイパスについて、30数年も前から取り組んできた問題でありましたが、全然話が前に進まず厳しい状況でありました。市長はいろいろ努力されたと思いますが、法線決定まで実現することができました。その努力に対して感謝いたしますし、今後とも国に対して一日も早く実現できる方向で努力してほしいと思います。今後の見通しも含めて答弁を求めます。</p>
		2. 農業問題について	(1) コメ不足の原因をどのように見ているか	<p>① 昨年の作況指数が間違いであったと思うが、JAと協力して情報交換はしていたのか伺います。</p> <p>② 昨年の大豆や他の作物の作付面積はどのような状況か、今年の作付面積が確認できたら答弁を求めます。</p> <p>③ 今年の農林業センサス、農林業経営体調査に基づいて現地確認する必要があると思うが、JAと相談してその対応について伺います。</p> <p>④ 最近の新聞報道では、今年の米価の価格が予想されて報道されているが、どのように感じているか伺うと同時に、販売ルートが複雑になっていると以前から感じているが伺います。(5カ所、6カ所経由していると思う。)</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	土田 昇 (一問一 答方式)	2. 農業問題 について	(1) コメ不足 の原因を どのよう に見てい るか	⑤国の指導で大規模経営を示しているが、大規模経営だけでは農地は守れないと以前から申し上げてきましたが、今後の対応について伺います。
7	稲村 隆行 (一問一 答方式)	1. 中小企 業、小規 模事業者 の人手不 足、後継 者不足問 題につい て	(1) 中 小 企 業、小規 模事業者 の人手不 足、後継 者不足問 題への対 応につい て	①中小企業、小規模事業者の人手不足、後継者不足の現状をどのように把握しているか伺います。 ②中小企業、小規模事業者の人手不足、後継者不足問題に対する現状の施策の効果を伺います。 ③今後の市の対応について考えを伺います。
		2. 空き家問 題につい て	(1) 空き家問 題への対 応につい て	①令和7年4月より、特定空き家等になる前の段階の管理不全空き家に対する指導及び勧告ができるように条例改正されたが、その実施状況を伺います。 ②空き家問題に対する現状の施策の効果を伺います。 ③今後の市の対応について考えを伺います。
8	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実 現	(1) 県央基幹 病院の救 急体制逼 迫と住民 のヘルス リテラシ ー向上に ついて	①5月15日市民厚生常任委員会視察において県央基幹病院に伺った際、現在、基幹病院の救急患者受け入れ件数が年間1万件ほどとなっているとのことであった。これは開院前の県央医療圏全体の年間救急搬送数約8,000件を大きく上回るものである。また、当初2～3年をかけ段階的に年間5,500～6,000件程度を受け入れるという想定をも大幅に上回っており、救急体制はすでに逼迫状態にあると感じている。 この危機的状況に対し、市はどのような認識を持ち、市民の命と地域医療を守るために、どのような対策を講じる考えであるか伺いたい。 ②高齢者医療についてはそのニーズが増加する一方で、地域医療を担う医師の高齢化も進んでいることから、医師数の減少による地域医療の質・量の低下を想定しその対策を講じなければならない。地域医療と市民の健康を守るための具体の取り組みとその目指す効果について伺いたい。 ③持続可能な医療体制を構築するためにも、市民一人ひとりが医療資源の有限性を認識し、適切な受診行動と自らの健康増進を心がけるヘルスリテラシーの向上が不可欠であり、同時に、地域医療福祉の連携強化、医療従事者の負担軽減に取り組む必要があると考えているが、市の考えを伺いたい。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
8	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実 現	(2)教育環境 の向上と 学校図書 館の可能 性につい て	<p>①様々な調査研究において、読書が学力向上や非認知能力の育成に非常に重要な役割を果たすとされ、また、家庭の社会経済的背景が学力に与える影響を軽減できる可能性も指摘されている。小中学校がすべての子どもたちの居場所であることから、子どもたちの読書機会を創出する上で学校図書館は極めて重要な存在である。学校図書館が子どもたちの成長に果たす可能性や重要性についてどのように認識されているか伺いたい。</p> <p>②学校図書館は、教室の固定された人間関係から離れて安心して過ごせる「心の居場所」としての重要な機能を備えており、児童生徒の心理的安全性やストレス軽減に寄与し、自己肯定感を高めるとともに、多様な人間関係の形成に繋がるとされている。</p> <p>この「心の居場所」としての機能を最大限に引き出すとともに、児童生徒の知的好奇心を刺激しその利用を促すために、空き教室の活用による図書館空間の拡大、くつろげるソファや横になれるカーペットの設置等によるリラックスできる環境整備、配架の工夫など、多角的な視点からの改善策を講じ、その魅力向上を図るべきであるが、市の考えを伺いたい。</p>
			(3)深刻な少 子化と人 口減少社 会におけ る、より 魅力的な まちづく りのため の園、小 中学校の 統廃合の 議論開始 について	<p>①少子化と人口減少が加速する現代において、園、小中学校統廃合の議論は避けて通れない極めて重要で難しい課題である。</p> <p>保有量適正化計画において、園児・児童数の状況や建物の老朽化などを踏まえ、統廃合の時期について順次検討が進められる方針が示されているが、園児・児童数の推移を見るといった受動的な姿勢ではなく、都市形成全体に渡る、積極的かつダイナミックで迅速な議論を開始する必要がある。</p> <p>市は、持続可能で魅力的な都市を実現するため、園・学校の統廃合と利活用に関する議論を喫緊の課題として捉えるべきではないか。</p>
9	田澤 信行 (一問一 答方式)	1. 市内産業 の労働力 について	(1)労働力不 足の現状 について	<p>①燕市の製造業における現在の労働力は十分足りているのか、それとも労働力不足に陥っているのか、現状をどのように捉えているか伺います。</p> <p>②「燕市の産業」資料における産業中分類別で労働力不足の傾向があれば教えてください。</p> <p>③令和4年「燕市の産業」資料の産業中分類従業員数で非鉄金属が前年比188.6%と大幅に増加となっていますが、何が要因なのか伺います。</p>
			(2)労働力不 足への対 策につい て	<p>①燕市が労働力不足に対してどのような対策を講じているのか、具体的な施策などを伺います。また、それら施策の効果をどのように測定されていますか。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
9	田澤 信行 (一問一 答方式)	1. 市内産業 の労働力 について	(3)若者の雇 用促進に ついて	①若者の雇用を促進するために、燕市としてどのような 取り組みを行っているのか伺います。また、地元企業 との連携についても伺います。
			(4)外国人労 働力の受 け入れに ついて	①労働力不足を解消するための外国人労働者の受け入 れについて、燕市の方針や具体的な取り組みについて 伺います。どのような業種で受け入れを進めているの か、また課題があれば併せて伺います。
		2. 企業誘致 の現状に ついて	(1)企業誘致 の施策に ついて	①「企業誘致の促進」をテーマとした各種施策がありま すが、実績としてどのように捉えているか伺います。 ②シェアオフィスでの企業進出を図っていますが、進出 してきた企業数と社員数など実績について伺います。 ③企業誘致のためのインフラ整備として取り組んでい ることがあれば伺います。 ④燕市の特徴や優位性をPRした企業誘致活動を推進 し、且つ、誘致したい業種や企業を明確にして取り組 んではどうかと思うが、如何お考えか伺います。
			3. ICT教 育の現状 について	(1)ICT教 育の導入 状況につ いて
			(2)教育環 境の整備 につ いて	①インターネット環境やWi-Fiの整備状況について 伺います。 ②教員のICT活用に関する研修やサポート体制につ いて伺います。
			(3)生徒のI CTスキ ルにつ いて	①生徒のICTリテラシー向上のための取り組みにつ いて伺います。 ②生徒へのICT教育の効果や成果について伺います。
			(4)課題と今 後の展 望につ いて	①現在抱えている課題(設備不足、教員のスキル不足な ど)について伺います。 ②今後のICT教育の計画と目標について伺います。
	(5)Google for Education の導入に ついて	①Google for Educationについて資料提供しましたが、 私たちは非常にメリットの多い取り組みであると捉 えています。燕市でも導入が可能であれば、導入すべ きものと考えています。教育委員会の見解を伺いま す。		

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
10	岡山 秀義 (一問一 答方式)	1. 市道の視 認性・安 全性の確 保につい て	(1)いのちを 守る大切 な白線	<p>市道の一部で、車道と歩道を区切る白線やセンターライン、停止線、横断歩道、注意を促す路面標示などが消えかかっている。特に、歩道と車道を区分けするラインが消えかけており、通学に不安な児童・生徒・保護者も多い。また、夜間や雨天時には視認性が極端に低下し、歩行者・自転車・車両すべてにとって危険な状態である。市民からも「危ない」「早急に直してほしい」との声が上がっている。子どもから高齢者まで毎日利用する道路の安全性を確保しなければいけない。</p> <p>①市道における白線・区画線の劣化状況をどのように把握しているか伺う。</p> <p>②劣化状況の点検頻度・体制・評価方法について伺う。</p> <p>③危険度の高い箇所は早急に対応しなければならないが、どのような基準で補修や再塗装の優先順位を決めているのか伺う。</p> <p>④近年の再塗装実績と、今後の予定について伺う。</p> <p>⑤実際に寄せられた自治会や市民からの通報や要望に対して、どのように応えているか伺う。</p>
		2. 部活動の 地域展開 について	(1)未来いき いき地域 クラブ	<p>近年の大きな教育行政の転換点である部活動の地域移行。国は教員の働き方改革と地域スポーツ・文化活動の活性化を目的として、学校部活動の地域移行を推進してきた。燕市においては第1期、令和5年7月より4スポーツ（陸上・バレーボール・バスケットボール・バドミントン）の地域クラブが月1回程度活動。第2期、令和6年9月より対象をすべてのスポーツ、月2回の活動へ拡大。第3期、令和7年9月より対象をすべてのスポーツと文化活動、活動日をすべての土日に拡大予定とし、地域移行から地域展開へと段階的に丁寧に進めてきた。しかし現場では指導者の確保、受け皿となる地域団体の不足、活動費用の増加など、多くの課題が懸念されている。</p> <p>①第2期までの現状をどのように評価しているか伺う。</p> <p>②第3期、地域展開について、対象となる中学校の部活動数・種目数はどのくらいか伺う。</p> <p>③スポーツ・文化団体など、受け皿の整備、指導者の確保は進んでいるのか伺う。</p> <p>④指導者の資質や安全管理体制について、どのようにチェック・研修していくのか伺う。</p> <p>⑤地域クラブの移行により、保護者の費用負担が増えることとなった。子どもが参加したくても経済的な理由により親に反対される声もある。公平性について認識を伺う。</p> <p>⑥今後、地域クラブとして中体連をはじめ、各大会に参加したいクラブが増えた時、平日も練習したいクラブが増加するのは当然である。その時の対応と練習場所確保について伺う。</p> <p>⑦保護者への周知方法と管理アプリについて伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
10	岡山 秀義 (一問一 答方式)	2. 部活動の 地域展開 について	(1) 未来いき いき地域 クラブ	<p>⑧文化部の活動用具が大きな課題となる。特に吹奏楽部の大きな楽器など毎回持ち運んでの利用は難しい。小学校などで利用しなくなった楽器など、文化部で利用でき、小学校で利用されていないものの有効活用を検討してはいかがか伺う。</p> <p>⑨部活動は単なる運動や文化活動の場だけではなく、子どもの心身の成長・人間関係の構築・多くの学びの場でもある。部活動の地域移行は避けられない流れであるとしても、教育の場としての意義を失わず、すべての生徒に開かれた環境整備を今は行政の責任でしっかりと進めるべきと考える。現場任せにせず、地域・学校・行政が一体となって子どもたちを育てていただきたいと強く要望するが、見解を伺う。</p>
11	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	1. 柏崎刈羽 原発の再 稼働問題 について	(1) 国・県の 動きと市 の対応に ついて	<p>①「柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会」が求めた「県民投票条例の制定」が4月18日否決された。国は「説明会」を活発化し、県も知事が公聴会を開くことを決め、県としての説明会も開き、市町村長との懇談会を開始した。懇談会をはじめとした報道では態度を明確にしない首長もいるが、鈴木市長はこれまでの姿勢で懇談に臨むのか伺う。</p> <p>②事故を想定した6方向の避難道路や沿線の対応などは出されても、複合災害やテロ対策などは傍に置かれたままであるばかりか、事故時の放射線量想定も極端に低く見積もるなど、実効性に程遠いものとなっている。燕市は自然エネルギー活用に積極的に取り組んできており、安全なエネルギー造りを実践してきたのではないかと。市民の命を守る立場から国や県にどう対応していくのか伺う。</p>
		2. 指定管理 施設につ いて	(1) 指定管理 施設にお ける職員 待遇につ いて	<p>①指定管理契約時の受託管理者の職員待遇について、市の考えを伺う。</p> <p>②指定管理者の職員数や待遇について把握されているか伺う。</p> <p>③「公の施設で働く」人の労働条件の水準についての市の考えを伺う。</p> <p>④非公募による管理者選定における職員待遇について、どのような考えを持って選定してきたのか伺う。</p>
			(2) 指定管理 者の選 定、更新 にあつ て	<p>①諸物価の異常高騰の中で、指定管理費用については即応性を持って施設管理費、人件費などを調整することを前提とすべきではないか、考えを伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	長井由喜雄(一問一答方式)	3. マイナンバー保険証について	(1) マイナンバーカードの発行状況とマイナ保険証登録の状況について	①燕市でのマイナンバーカード発行状況について伺う。 ②マイナ保険証登録数と電子証明書更新の状況について伺う。
			(2) マイナ保険証利用の状況について	①燕市におけるマイナ保険証の利用環境について伺う。 ②マイナ保険証の利用トラブルについて伺う。
			(3) 資格確認書の発行について	①資格確認書の発行状況について伺う。 ②東京都世田谷区と渋谷区が「マイナ保険証」の保有に関わらず「資格確認書」の一律送付を決めた。燕市においても対象者全員に資格確認書を発行することが必要ではないのか、考えを伺う。
12	渡邊広宣(一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 任期途中の辞任について	①令和8年4月22日の任期満了日を待たず、本年10月22日で辞職する意向の真意を改めて伺う。 ②令和7年度予算は辞職を前提に編成されたのか伺う。 ③今まで進めてきた政策の継続性について伺う。
			(2) 4期約15年の評価について	①評価は自分でするものではないが、4度の選挙とそれに伴う所信表明および予算定例会の施政方針で掲げた政策方針における達成度をどう評価しているか伺う。
			(3) 合併から来年20年を迎えるにあたって	①合併当時、鈴木市長(市政)が誕生してからの各種指標から、燕市の行政成果と問題点を伺う。 ②任期期間にコロナ渦という未曾有の危機的状況下、ロシアによるウクライナ侵攻、地政学上のサプライチェーンの不安要素、今後米国による自国第一主義、高関税・相互関税に日本、強いては燕市に与える影響と認識、また対応策について伺う。
			(4) 今国会で議論されている問題について	①消費税減税、ガソリン暫定税率、社会保障改革など、燕市に影響する危惧を伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(5)人口減少社会における燕市の今後の方向性について	①人口減少が著しく、総人口、生産年齢人口の減少、経済環境(物価高)が激変している昨今、燕市の未来像をどう見ているか伺う。 ②将来性、成長性ある持続可能な自治体運営、燕市にするための方向性と施策について伺う。
		2. 所得制限撤廃について	(1)所得制限撤廃について	①2025年度から高校授業料無償化がスタートし、2026年度から私立高校の支援額が39万6,000円から45万7,000円に引き上げられる。これらも含め、あらゆる各種政策(行政サービス)で所得制限撤廃の動きが顕著である。財政上、改めて所得制限撤廃の賛否を伺う。
13	小林 秋光 (一問一答方式)	1. 耕作放棄地対策と農業再生	(1)耕作放棄地の実態と市の把握状況について	①燕市における耕作放棄地の、近年の面積はどう推移しているのか。また、地域によって偏りがあるのかどうかも含めて、実態をどのように捉えていらっしゃるのか伺います。
			(2)再生利用と担い手確保について	①耕作放棄地を再び農地として活用するためには、やはりそこに携わる人材が必要です。市として、若者の定着や移住者の支援、新規就農者の受け入れなど、担い手の確保に向けた方針があれば伺います。 ②草刈りや整地など、農地として再生するためには初期の作業が不可欠ですが、そのための費用や労力は大きく、高齢の方や個人での対応が難しい場合も多いと聞きます。そうした初期整備への支援や、農地バンクの更なる活用、マッチング支援などについて、市としてどのような方針をお持ちか伺います。
			(3)農業意欲の低下と精神的負担への対策	①最近、「もう農業をやめようか悩んでいる」といった声を耳にすることが増えてきました。作物を育てても鳥獣に食べられてしまったり、農地が荒れていく姿を見続けることで、気持ちが折れてしまう方も多いと感じています。そうした声に、市としてどう向き合い、どのような相談体制や支援体制を構築していく考えか伺います。
		2. 猛暑対策と公共施設の活用	(1)熱中症対策としての市の取り組み	①猛暑による健康リスクの高まりを受けて、燕市ではどのような熱中症対策を講じているのか。今年の夏もすでに暑さが厳しく、気温が30度を超える日も出てきています。近年の猛暑は、もはや「危険な暑さ」と言われるほどで、高齢の方や小さなお子さん、持病をお持ちの方などにとっては、命に関わる重大な問題です。このような気候状況のなかで、燕市としては、どのような熱中症対策を講じているのか。また、保健師や地域包括支援センターなどとの連携体制も含めて、どのように備えているのか、市の現在の方針を伺います。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
13	小林 秋光 (一問一 答方式)	2. 猛暑対策 と公共施設 の活用	(1) 熱中症対策 としての市の取 り組み	②「おやすみ処 涼館(りょうかん)」の目的と効果、市民からの評価はどうか。 その熱中症対策の一つとして、今年も「おやすみ処 涼館」が28度以上になる日に開設予定ですが、冷房の効いた公共施設や福祉施設、薬局などを一時的な避暑スペースとして開放するこの取り組みは、高齢者や在宅の方々にとって非常にありがたい支援だと思います。昨年も実施されたとのことですが、利用された方の声や実績、効果についてはどのように受け止めているのか。また、アンケートなどでの満足度や改善点について、何か市として把握していることがあれば伺います。
14	タナカ・ キン (一問一 答方式)	1. 新型コロナ ワクチン接種に よる健康被害につ いて	(1) 新型コロナ ワクチン接種に よる健康被害につ いて	①新型コロナワクチン接種が始まった2021年4月から、現在までにワクチンを1回以上接種して死亡した人数について伺う。 ②1回目の接種後、通常3週間の間隔で2回目の接種を受けるのですが、2回目を受けないで死亡した人数を伺う。 ③コロナワクチン接種開始時点で、コロナ感染症で死亡した人数を伺う。 ④接種1回目から8回目までの各接種人数と接種率を伺う。 ⑤接種案内のチラシの説明には予防接種を受けることが出来ない人の記載があります。どういう人が受けられないのか伺う。 ⑥接種後に接種会場から救急搬送された人数を伺う。 ⑦コロナワクチンは製薬会社が同じでも、ロット番号の種類が多くあります。燕市で使用されたものは全部で何種類だったのか伺う。 ⑧ロット番号が違ってても内容は同じなのか伺う。 ⑨1回接種後死亡した人の2021年4月から12月までの月別人数を伺う。 ⑩市の予防接種健康被害調査委員会の各開催日と案件数を伺う。 ⑪国への進達件数と認定件数を伺う。 ⑫現在、国が死亡認定している人数と、その他医療給付等の人数を伺う。 ⑬各給付額を伺う。 ⑭令和5年度の決算書の予防接種健康被害救済給付金489万2,262円の内容について伺う。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
14	タナカ・ キン (一問一 答方式)	1. 新型コロナ ワクチ ン接種に よる健康 被害につ いて	(2) 市の対応 について	<p>国の予防接種健康被害救済制度による認定となると、ハードルがとても高い。</p> <p>①後遺症に苦しむ市民の相談窓口を設けていたか伺う。</p> <p>②相談窓口を設けていたら、相談件数を伺う。</p> <p>③副反応や後遺症に苦しむ人に、医療費等の経済的負担を支援することを目的に、名古屋市や市川市は市独自に、また愛知県は県独自に「見舞金」を支給しています。燕市でも検討してもいいと思うが伺う。</p>
		2. 新たな敬 老事業に ついて	(1) 新たな敬 老事業に ついて	<p>今年度から、対象をこれまでの75歳以上から88歳を対象に「米寿をお祝いする会」として、市直営で開催するとしている。</p> <p>①燕地区（文化会館）、吉田地区（吉田産業会館）、分水地区（分水福社会館）と別々に開催する理由について伺う。</p> <p>②88歳というと、個人で会場に行くことは困難な人が多いが、会場に行く手段についてはどう考えているか伺う。</p> <p>③文化会館は固定のイス席である。吉田産業会館及び分水福社会館の会場設営について伺う。</p> <p>④文化会館のバリアフリー化について伺う。</p> <p>⑤対象を88歳（米寿）にした理由について伺う。</p> <p>⑥他の自治体で88歳を対象として、このような内容の式典を行っているところはあるのか伺う。</p> <p>⑦アトラクションの内容を伺う。</p>
15	佐野 大輔 (一問一 答方式)	1. 燕市の都 市計画に ついて	(1) 新設道路 等におけ る都市計 画のあり 方や戦略 について	<p>燕市内では、現在、主要道路に関連して燕北バイパスや国道289号の道路の拡幅、国道116号の吉田バイパス化、物流センターをつなぐ道路の新設などが予定されている。これによって都市構造はさらに大きく変わっていくことが予想される中で、以下の通り伺う。</p> <p>①都市計画マスタープランにおいて、土地利用の内容によってゾーンが色分けされているが、すでに計画時から状況が変化している部分もある。その上で、今後の見直しの予定について伺う。</p> <p>②それぞれの道路を作りながら、できた後を見越した上で、人の流れを含めて道路の周辺の土地利用をどう進めていくのかを検討していく必要があると考えるが、市はどのように考えているか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
15	佐野 大輔 (一問一 答方式)	2. 県央5市 町村との 連携につ いて	(1) 県央5市 町村と連 携した戦 略のあり 方の検討 について	<p>燕市だけでなく新潟県内全体、ひいては国内全体の人口減少が進む中で、これからの人口規模を見据えて、これまで一つの市で行ってきたことや維持してきた施設について、より広域で整理・集約したり役割分担する必要があると考える。</p> <p>① 県央5市町村の首長レベル、また、担当レベルでの連携の現状について伺う。</p> <p>② 公共施設においては、これまで合併前の3市町にそれぞれ設置されていたものを統合したり、場合によっては弥彦と合わせて統合するなど集約化を図ってきている。その上で、今後は、燕弥彦だけでなく県央5市町村など広域での集約化などの検討も必要と考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>③ 道路等のインフラの整備だけでなく、人口減少対策や産業振興など政策においてもこれまで各市がそれぞれ個別で取り組んできたところから、市レベルだけではなく、県央5市町村での広域連携した政策が今後は必要と考えるが、市の考えを伺う。</p>
		3. 重症心身 障害児 (者)等 への支援 について	(1) 重症心身 障害児 (者)や 医療的ケ ア児の実 態につい て	<p>重症心身障害児(者)や医療的ケア児については、その症状により常時寄り添っての支援が必要なケースが多く、本人のみならず寄り添う方々が抱える悩みや負担は非常に大きい。</p> <p>① 現在、重症心身障害児(者)や医療的ケア児(者)はどのくらいの人数いると市は把握しているか伺う。</p>
			(2) 重症心身 障害児 (者)や 医療的ケ ア児(者) への支援 について	<p>① 寝たきりで紙おむつが必要なお子さんがいる中で、現在、燕市では日常生活用具の給付として対応しているが、購入場所が限られている。一方で、在宅寝たきり高齢者等に支給している紙おむつ券については、市内でも購入ができる場所が多いと認識している。財源の違いは理解しているが、制度を組み合わせるなど柔軟な対応ができないか伺う。</p> <p>② 障がいのある方に対して、移動支援や福祉タクシーなど様々な支援があることは理解しているが、新潟市で行っている通所・通学や余暇活動などの際に、支援者が同乗、運転しなくても送迎のみを対象とした移動支援を燕市でも導入できないか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
15	佐野 大輔 (一問一 答方式)	4. 不登校対 応につい て	(1) 医療ア プローチを 活用した 不登校対 応につい て	<p>柏崎にある新潟病院では、「不登校外来」があり、児童精神科医の先生が子ども保護者、学校の間に入り、学校に行きたくても行けない子どもに対して対応するとともに、学校の先生方への支援も行っている。不登校になる理由はそれぞれで、自ら自分で学ぶことを考えて不登校を選んでいる子もいる。</p> <p>一方で、行きたくても何らかの事象が原因で行けなくなった子たちも多くいることから以下の通り伺う。</p> <p>①学校に行きたくても行けない子どもたちが学校に行けるように、こういった不登校外来のある医療機関と連携した不登校対応をしていくことはできないか伺う。</p>